

We will make a fresh step everyday.

〈にっしん〉

2014年9月仮決算から



彫画:伊藤 太一



<http://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

 日新信用金庫

〈にっしん〉もしもしコール

フリーダイヤル イコー ニッサンバンク

 0120-15-2489

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

## ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚くお礼申し上げます。  
国内経済は「アベノミクス」効果と日本銀行の「量的・質的金融緩和」の導入により、緩やかな回復基調を続けています。しかし地域の経済は、急な円安による原材料高や消費税引き上げの影響に加え天候不順が重なり、回復が遅れ中小企業にとっては依然として厳しい環境下にあります。

さて、当庫の平成26年度仮決算について、預金残高は順調に増加いたしました。貸出金残高は長びく資金需要の低迷から伸び悩んでいます。当期純利益につきましてははお蔭さまをもちまして、792百万円の利益計上ことができました。

次ページ以降にグラフを用いて分かりやすくまとめてみましたので、ご一読いただければ幸いです。

日新信用金庫は、来年4月1日をもちまして発足満40年を迎えます。これもひとえにご愛顧を賜りました会員、お取引先、関係先の皆様のお蔭によるものと心より厚くお礼申し上げます。

人口の減少や産業の空洞化が進む中で、金融機関による地域活性化への支援が強く求められています。中小企業の専門金融機関である〈にっしん〉の役割は一層高まっております。地域社会に密着し、その使命を着実に果たし、お役に立つ信用金庫として地域からの信頼を得られるよう、役職員一丸となって懸命に取り組んでまいります。

地域の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月



## 絆 (地域とともに持続的発展を)

- 当金庫は、ヴィッセル神戸を応援しています。
- 地域行事等へ積極的に参加しています。



©VISSELL KOBE



板宿盆踊り大会 (平成26年8月) (板宿支店)

## 感謝デーを実施いたしました!

- 多くの方にご来店いただきまして誠に有難うございました。(玉津支店 開店40周年・移転10周年)



感謝デー実施日 (平成26年9月18日・19日)

## お客様の安心・安全のための取り組み

- 架空請求詐欺被害を未然に防止しました。



社警察署での表彰式 (小野支店)

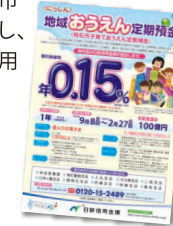
防犯訓練 (人丸支店)

## 地域活動・応援活動

### 【明石市子育ておうえん定期預金】

募集残高の0.01%相当額を明石市の「明石市子ども基金」へ寄付し、「子ども夢文庫」等の運営に活用していただきます。

(明石市内の10店舗)  
取扱期間  
平成26年9月8日～平成27年2月27日



### 【にっしん経営塾】

兵庫県立大学から講師を招き、当庫取引先の若手経営者や次代を担う後継者の方などを対象に「にっしん経営塾」を明石、神戸、三木の3地区で実施しています。(産学公人材イノベーション推進協議会の活動から)

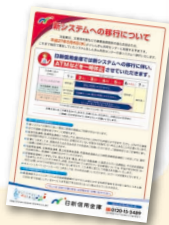


## 新システムへの移行について

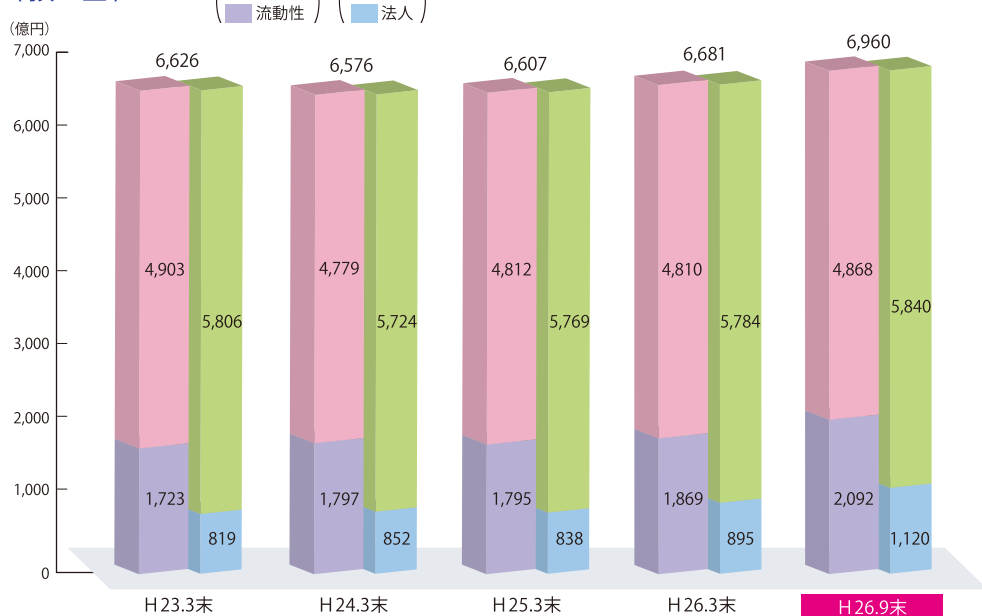
**〈にっしん〉は平成27年5月に、新しく「しんきん共同センター」のシステムに移行します。**

災害時などの事業継続の態勢強化を図るため、独自で運営してきたシステムを、平成27年5月6日(水)より「しんきん共同センター」に加盟移行します。〈にっしん〉は、これからも地域のお客様に必要とされ、より一層のご安心をお届けできる金融機関を目指してまいります。

【ご不自由をお掛けいたしますが、平成27年5月2日(土)～5月5日(火)はATMが、またIB・FBにつきましては平成27年5月2日(土)～5月6日(水)までご利用できなくなります。】



## 〈預金〉



### 【預金】

預金は平成26年3月末対比、279億円の増加となっておりますが、3月末は地方公共団体等の預金が毎年引き出されるという特殊事情があるため、実際は105億円の増加となります。預金残高は順調に推移しています。

増加要因は、流動性預金では生活口座として給与や年金の受取を、また、定期性預金ではタコちゃん定期預金や地域おうえん定期預金を多くの皆様にご利用いただいたことによります。

また、課題でありました流動性預金や法人預金も順調に増加の傾向にあります。これからも皆様によるこんでいただけるサービスの提供に努めてまいります。

### 【貸出金】

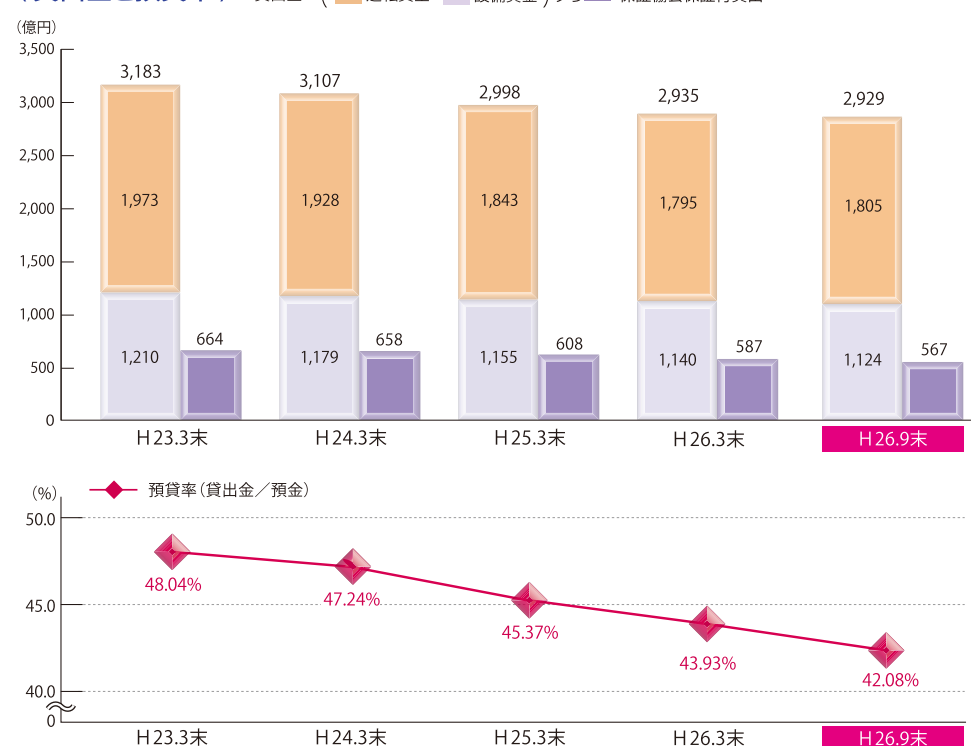
地域の皆さまへの的確な資金供給を心がけてまいりましたが、資金需要の低迷から貸出金残高は伸び悩んでいます。今期は、新規事業先を対象とした新たな融資商品の取扱いを開始し、営業活動の成果も表れてきており融資顧客数は増加しています。

日銀の金融緩和政策等に伴い、経済指標は緩やかな回復基調を示し始めていますが、地元中小企業への効果はなかなか見えてこないのが実状であります。こうしたなかで〈にっしん〉はより一層地域の発展のためお役に立てるよう努めてまいります。

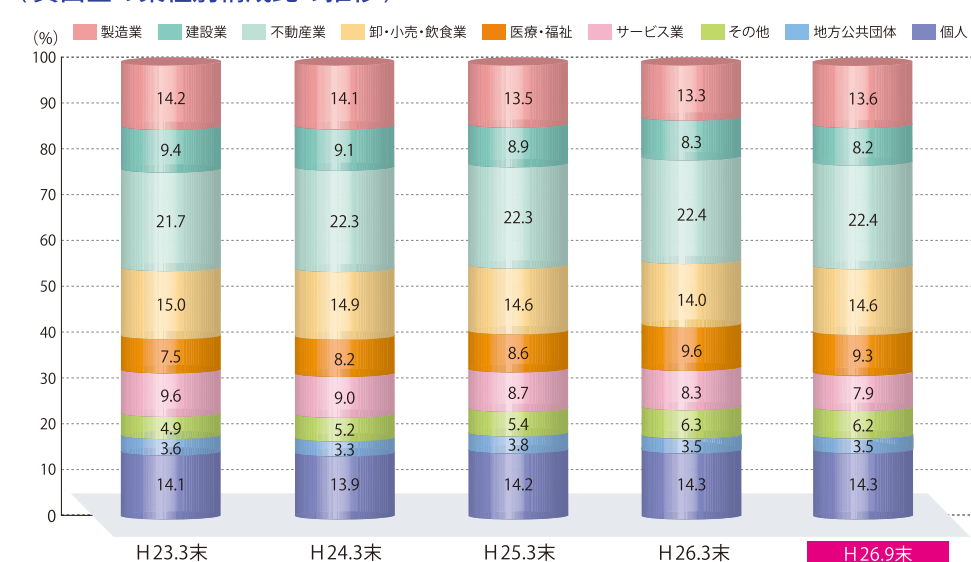
### 【業種別構成比】

貸出金の業種別構成比では、不動産業の比率が依然として高く推移しています。建設業の比率は低下傾向にあります。また、長らく低下傾向にあった製造業の比率は、国の補助金制度などの拡充を背景にやや上昇しています。一貫して上昇していた医療・福祉が低下となりましたが、資金需要は旺盛と思われます。個人向け貸出金については、住宅ローンを中心とした営業活動の強化により、昨年度末と同水準の比率を維持しています。

## 〈貸出金と預貸率〉

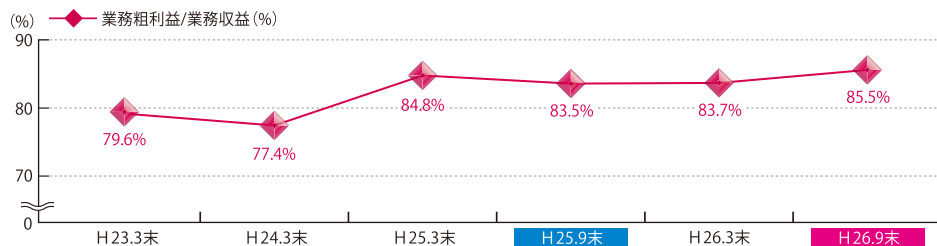
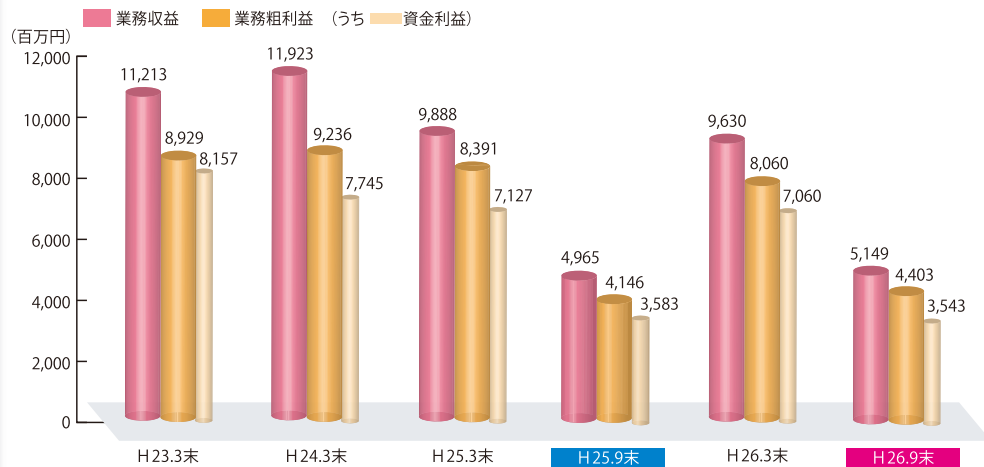


## 〈貸出金の業種別構成比の推移〉





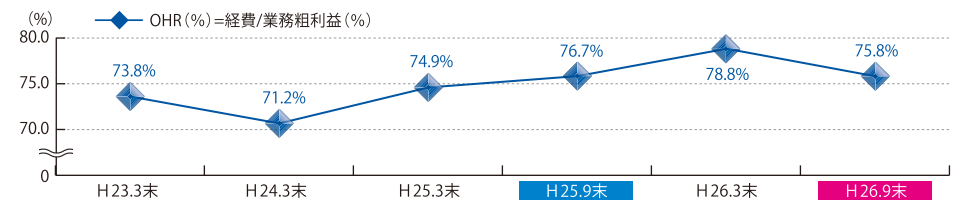
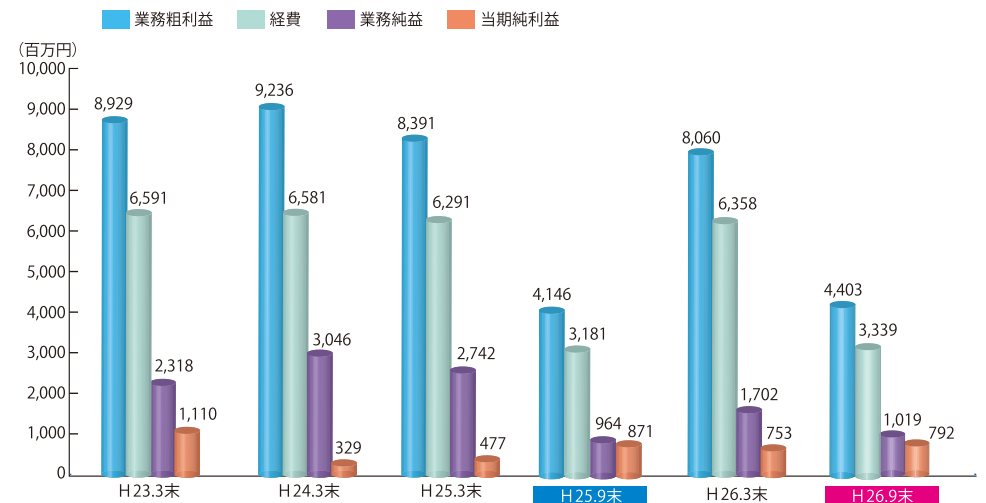
### 〈業務収益、業務粗利益(うち資金利益)〉



一般企業の売上に当たる業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役員取引収入等)は、有価証券売却益が寄与し対前年同期に比べ184百万円の増収となりました。業務粗利益(業務収益-預金利息等の原価)は業務収益が増加したため257百万円の増益となりましたが、資金利益は貸出金残高の減少及び貸出金利回の低下により39百万円減少しました。

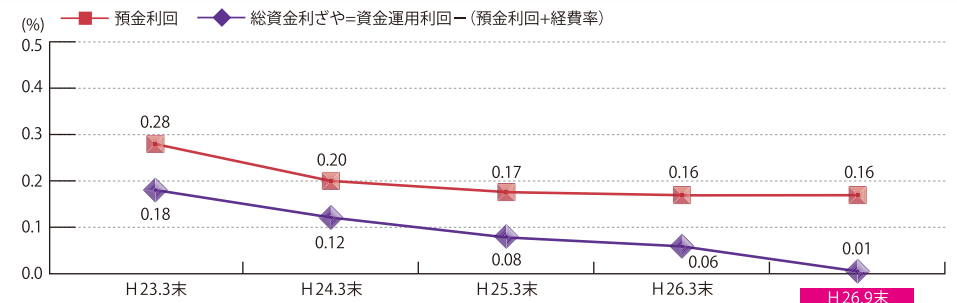
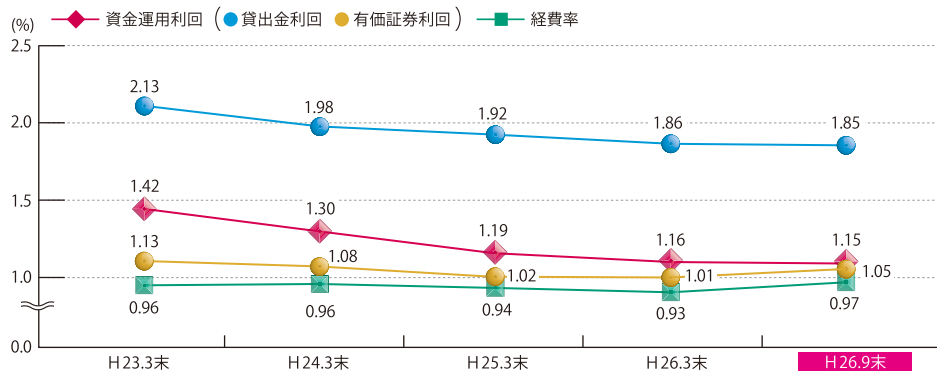
### 〈業務粗利益、経費、業務純益(業務粗利益-経費等)、当期純利益〉

(参考)業務粗利益-(経費+一般貸倒引当金繰入額)=業務純益



業務粗利益は増加したものの、しんきん共同センターへの移行に関する費用等もあり、経費が前年同期に比べ158百万円増加し、業務純益は54百万円の微増となりました。当期純利益は、不良債権処理費用が増加したことにより対前年同期に比べ78百万円減少しました。

### 〈資金運用利回(貸出金利回、有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや〉

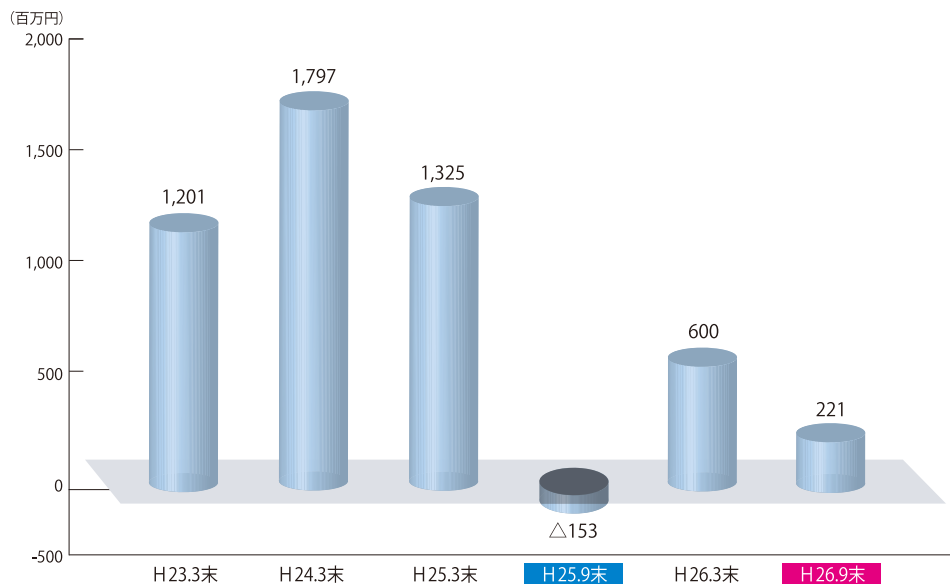


外国債の購入及び長期化により、有価証券利回は上昇しましたが、資金需要の低迷により貸出金利回が低下したことから、資金運用利回は低下しました。預金利回は、前年度と同水準で推移しましたが、経費が増加したことから、総資金利ざやは低下しました。



## 〈貸出金にかかる不良債権処理費用等〉

\*不良債権処理費用(債権償却額、債権売却損、貸倒引当金純繰入額等の合計)



貸出金にかかる不良債権処理費用等とは、一般貸倒引当金純繰入額、個別貸倒引当金純繰入額、債権償却額等の合計です。すなわち、将来の発生を見込んで現時点で算定した損失見込額及び回収不能となって確定した損失額の合計額です。

平成26年9月末の不良債権処理費用等は前年同期と比べて増加していますが、ここ数年で見れば低い水準にあります。これは平成26年度上期の倒産件数も少なく、大口の不良債権の発生がなかったことによります。

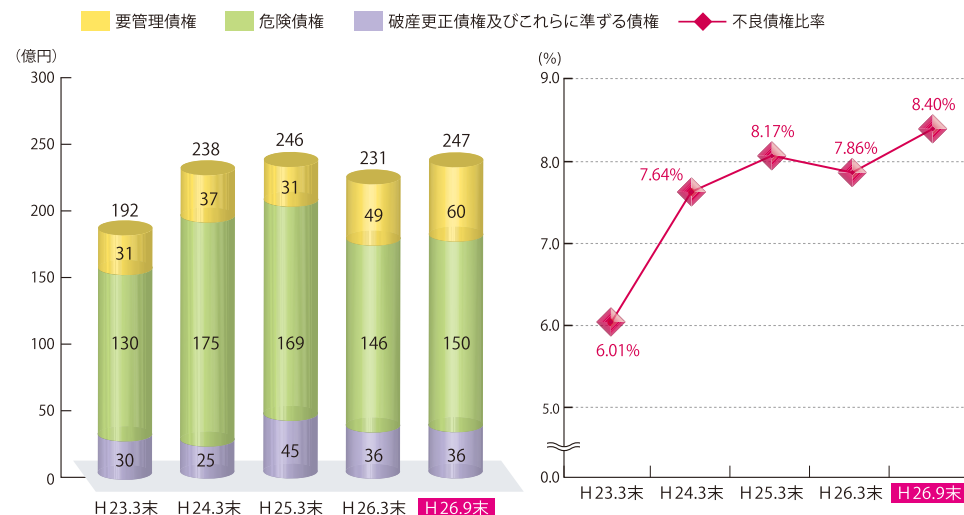
貸出債権の不良化を防ぐため、経営改善支援や融資審査能力向上などに全力で取り組んでまいります。同時に、将来のために引当も十分に行ってまいります。

## 〈不良債権(要管理債権を除く)の保全状況〉

平成26年9月末現在の不良債権(要管理債権を除く)は187億円あります。右の表はその保全状況です。

187億円の内、35億円は貸倒引当金として積んでおり、会計上では損失処理済といえます。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている額が79億円、一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている額が49億円、合わせて128億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの22億円は、保全されていませんが、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。

## 〈不良債権[金融再生法上の開示債権]の内訳と不良債権比率〉

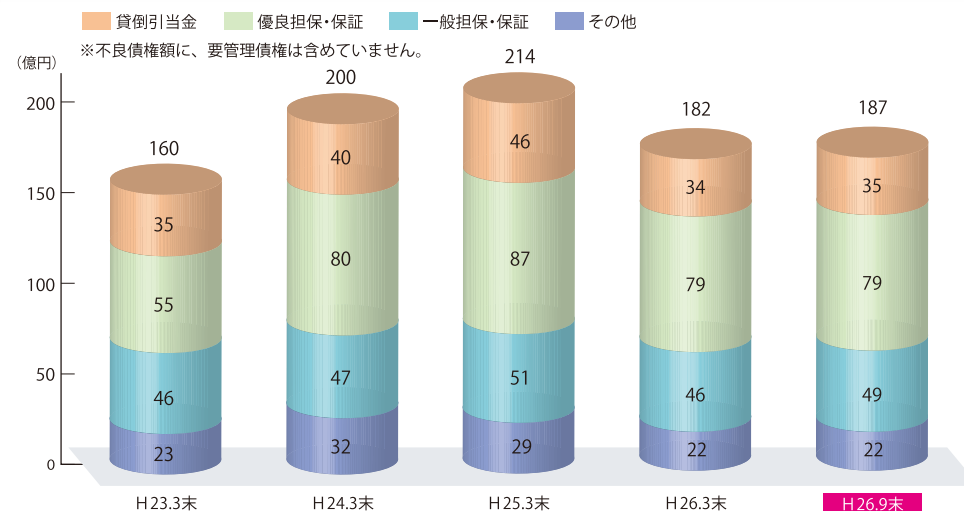


不良債権は、要管理債権、危険債権、及び破産更生等債権に分類されます。

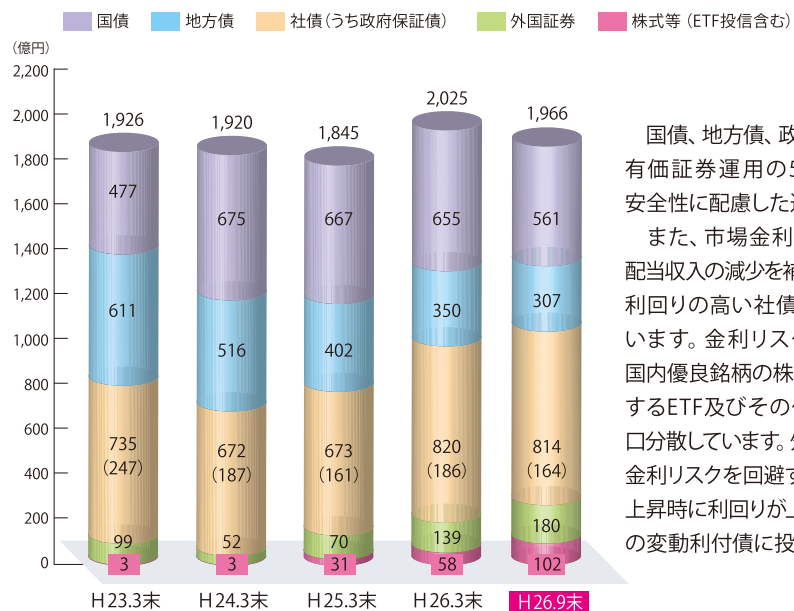
要管理債権の増加によって不良債権残高が増加しています。また、不良債権比率は融資残高の減少もあいまって高い水準にあります。

課題は要管理債権と危険債権をいかに減少させるかです。融資先の経営悪化を防ぎつつ、さらに経営改善の支援を強化してまいります。

なお、破産更生等債権は、未保全額に相当する額を個別貸倒引当金として計上しますので、会計上は損失処理済みです。あとは処理を行っていくことになります。

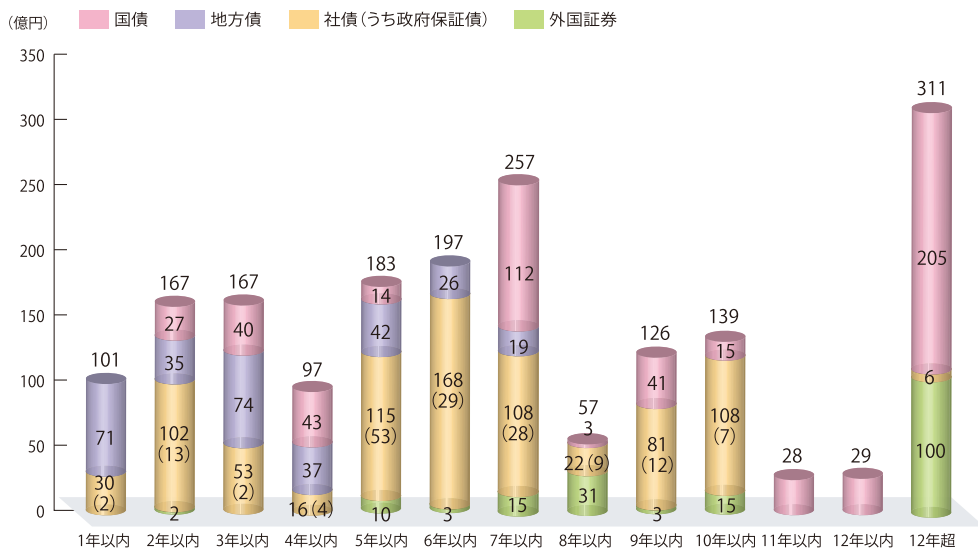


### 〈有価証券の種類別保有状況(期末残高)〉 (時価ベース)



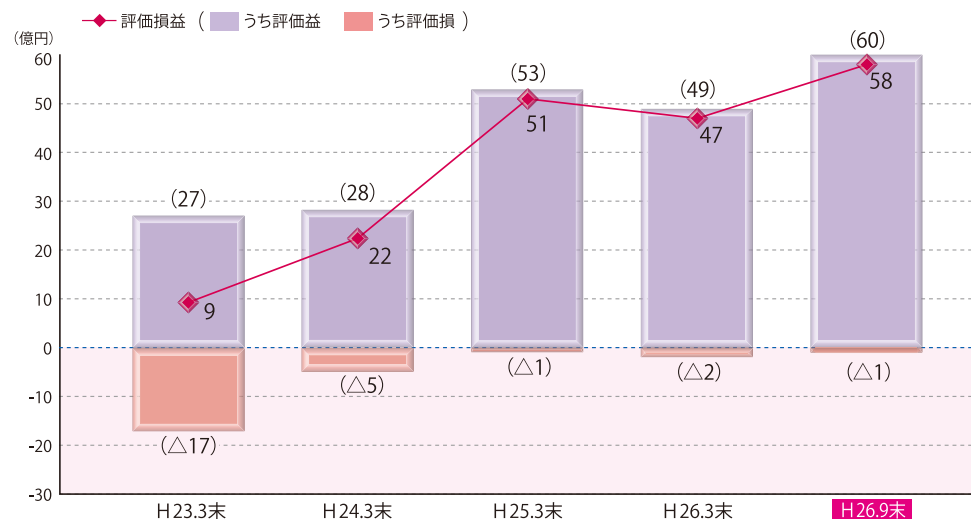
国債、地方債、政府保証債を併せて有価証券運用の52%を占めており、安全性に配慮した運用を行っています。また、市場金利の低下による利息配当収入の減少を補う目的で、国債より利回りの高い社債にも分散投資しています。金利リスクを分散するため、国内優良銘柄の株式、日経225に連動するETF及びその他投資信託にも小口分散しています。外国証券については、金利リスクを回避する目的で主に金利上昇時に利回りが上昇する単純な仕組の変動利付債に投資しています。

### 〈債券(償還までの期間別に見た残高)、平成26年9月30日現在〉 (時価ベース)



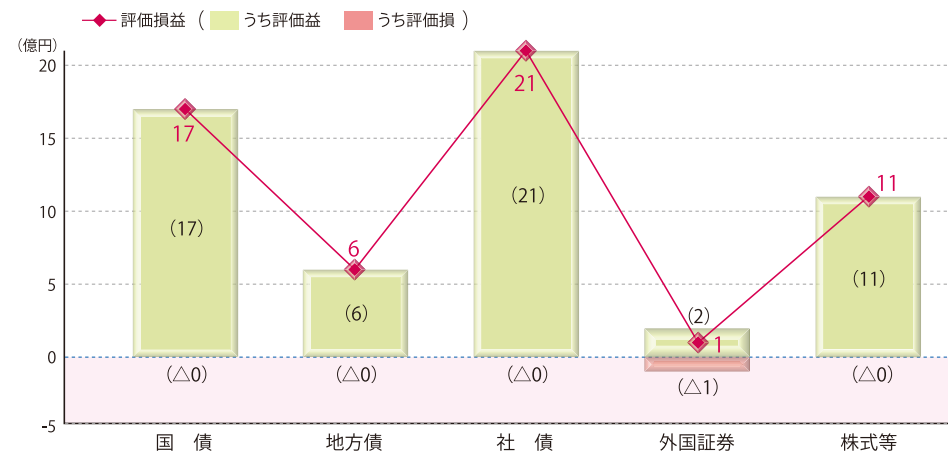
有価証券のうち株式を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したものです。収益向上のため、期間10年超20年以内の国債や外国証券にも投資しています。

### 〈有価証券の評価損益の推移〉



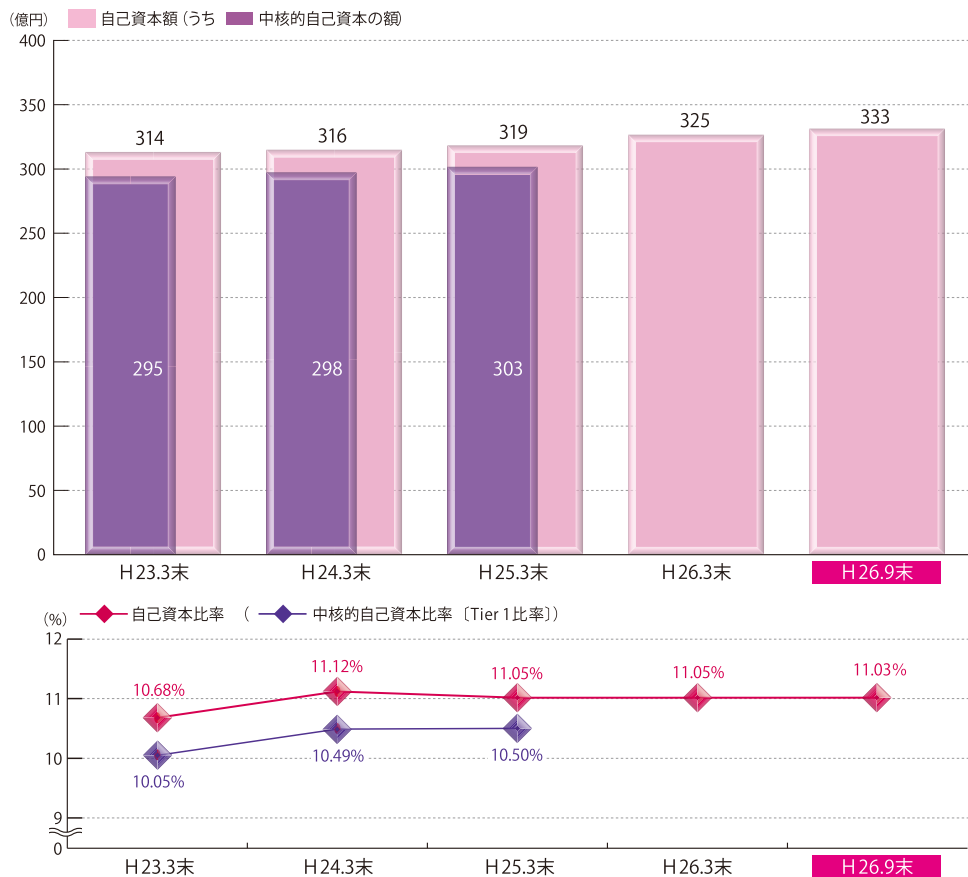
平成26年9月末現在、有価証券の評価益は60億円、評価損は1億円です。有価証券全体で差引58億円の評価益となっています。

### 〈有価証券の種類別の評価損益(平成26年9月30日現在)〉



平成26年9月末現在の有価証券の種類別評価損益を示したグラフです。国債、地方債、社債及び株式等は全体として評価益が出ており、評価損はほとんどありません。

〈自己資本と自己資本比率(信用金庫単体)〉 \*平成25年度においては新告示に基づく開示を行っております。

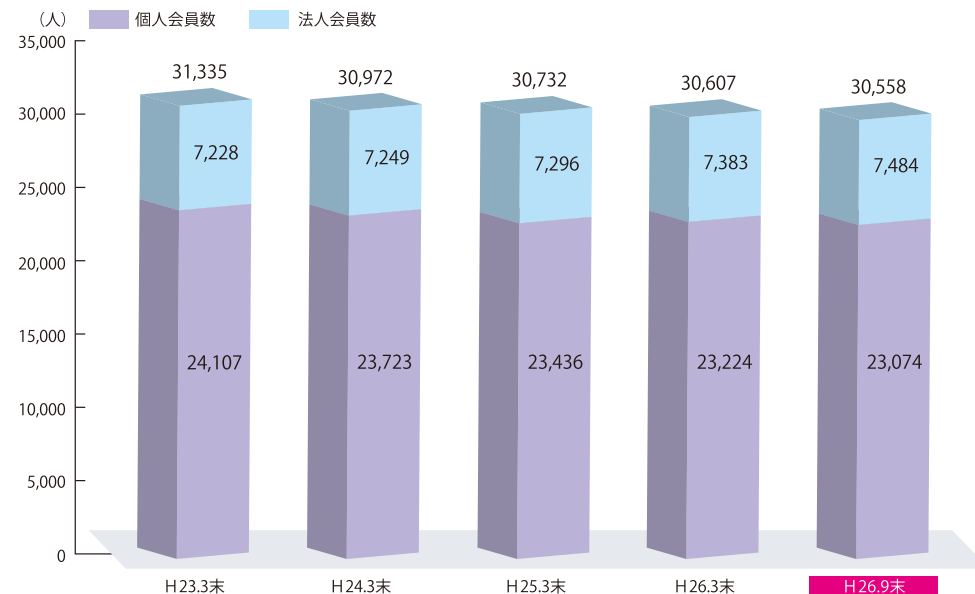


(億円)

	H23.3末	H24.3末	H25.3末	H26.3末	H26.9末
リスクアセット	2,941	2,845	2,887	2,946	3,022

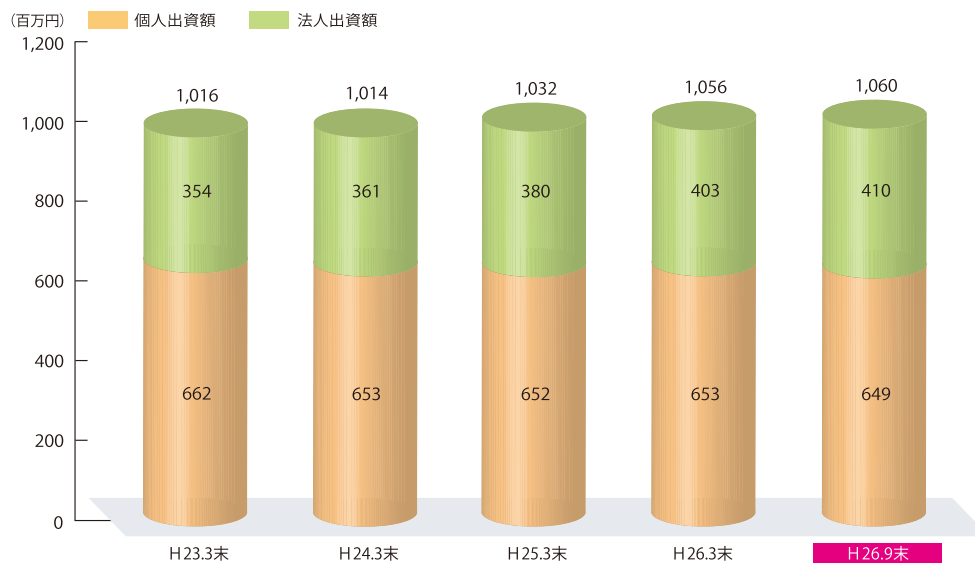
自己資本比率は、平成26年9月末で11.03%となりました。  
 当金庫の自己資本比率は国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持していると考えております。  
 これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。  
 なお、自己資本比率の算出方法を定めた基準(平成18年金融庁告示第21号)が平成25年3月8日に改正されたため、平成24年度以前は旧告示に基づく開示、平成25年度以降は新告示に基づく開示を行なっているため、平成26年3月期から中核的自己資本比率は記載しておりません。  
 お詫び: H26.9.末のリスクアセット、自己資本比率に計算相違がありましたので訂正させていただきます。

〈会員数〉



会員数はやや減少しています。これは個人会員が死亡等により減少しているためです。法人会員は一貫して増加しております。

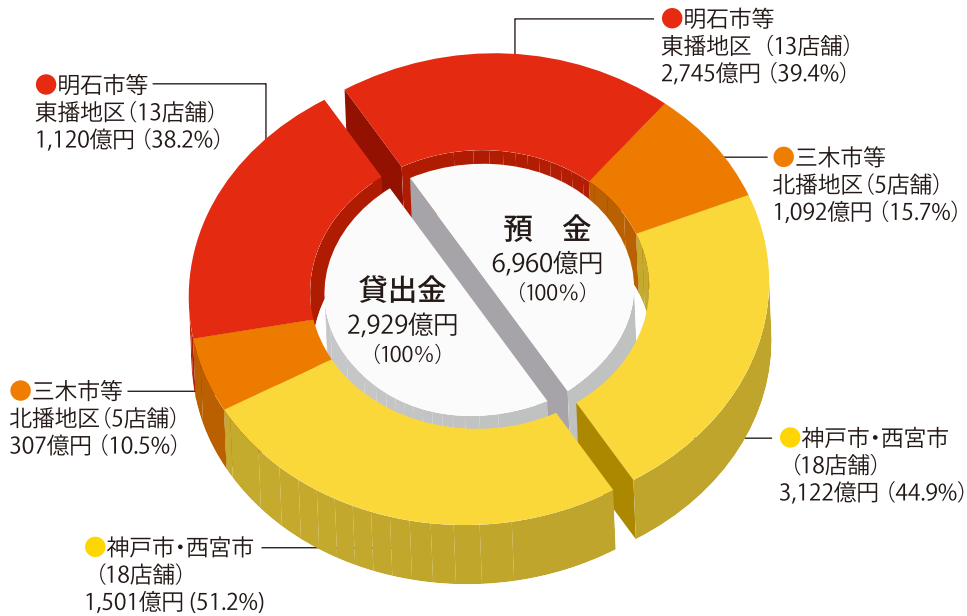
〈出資額〉



法人会員の増加により出資額は増加しております。

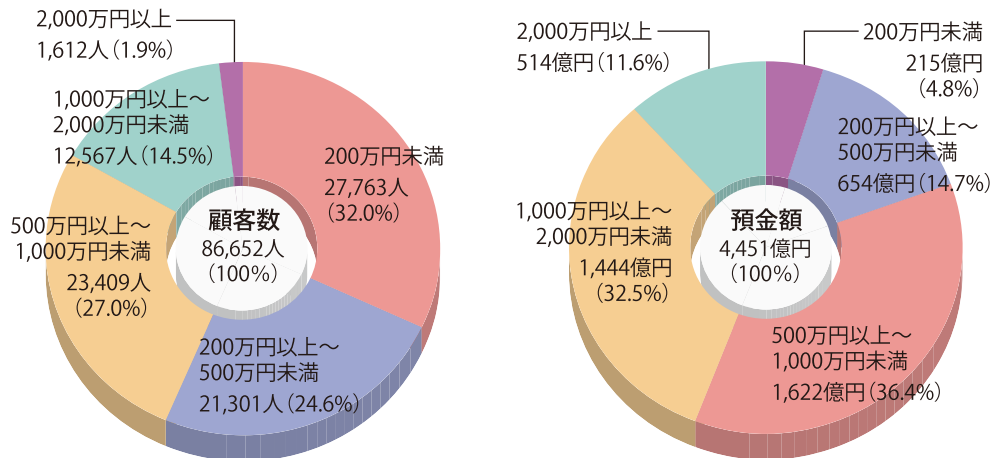


〈貸出金・預金の地域別構成〉 (平成26年9月30日現在)



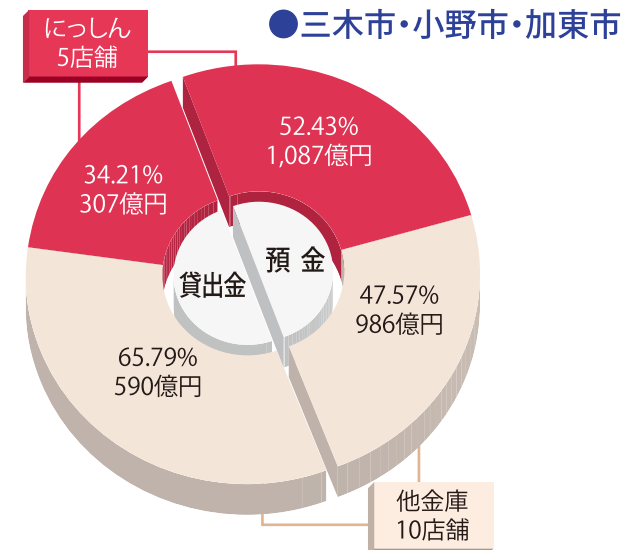
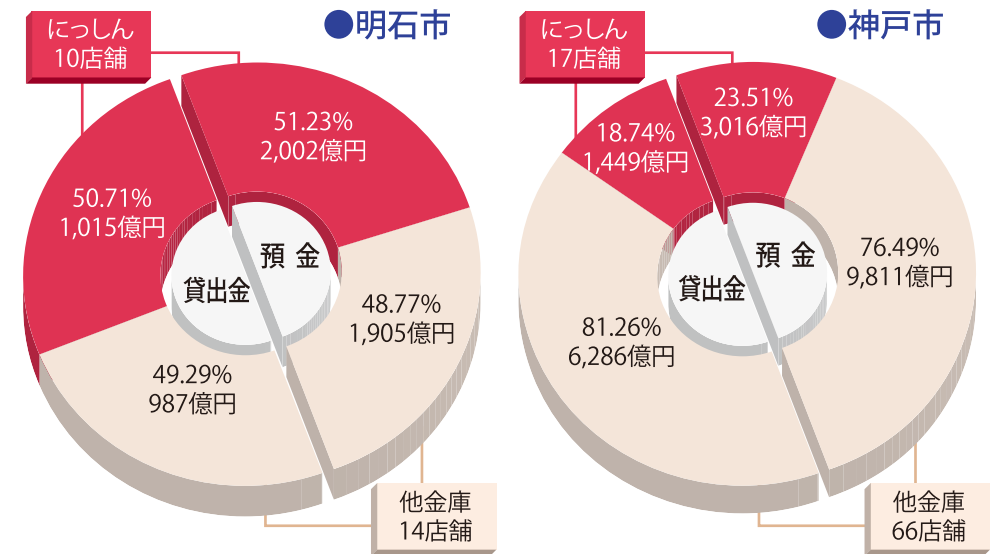
〈預金者のプロフィール〉

〈個人定期預金の残高階層別に見た顧客数と預金額〉 (平成26年9月30日現在)



※預金は個人の定期預金残高を対象に作成しています。

〈信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア〉 (平成26年3月31日現在)



※其他地区 (加古川市・高砂市・播磨町・西宮市) 預金575億円、貸出金161億円。

## 1. 資産・負債等の状況

(単位:百万円)

資産の部	平成25年9月末	平成26年9月末	増減	平成26年3月末
現金・預け金	233,232	243,476	10,244	207,311
コールローン	—	—	—	—
有価証券	190,975	196,668	5,693	202,550
貸出金	299,058	292,922	△6,136	293,525
事業性貸出金	246,325	240,880	△5,445	241,100
貸倒引当金	△6,015	△5,093	921	△4,894
うち個別貸倒引当金	△4,482	△3,572	909	△3,418
資産の部合計	727,670	738,300	10,629	708,305

(単位:百万円)

負債及び純資産の部	平成25年9月末	平成26年9月末	増減	平成26年3月末
預金積金	687,991	696,057	8,066	668,130
個人預金	580,509	584,035	3,526	578,517
負債の部合計	693,793	702,549	8,755	674,003
出資金	1,030	1,060	29	1,056
利益剰余金	30,165	30,732	566	30,047
其他有価証券評価差額金	2,680	3,958	1,278	3,196
純資産の部合計	33,877	35,751	1,874	34,301
負債及び純資産の部	727,670	738,300	10,629	708,305

## 2. 損益の状況

(単位:百万円)

項目	平成25年9月末 (平成25年4月1日～9月30日)	平成26年9月末 (平成26年4月1日～9月30日)	増減
業務粗利益……………②	4,146	4,403	257
うち資金利益	3,583	3,543	△39
うち役員取引等利益	216	195	△20
うちその他業務利益	346	664	318
一般貸倒引当金繰入額③	—	45	△45
経費……………④	3,181	3,339	158
業務純益……………①	964	1,019	54
実質業務純益……………⑤	636	419	△216
臨時損益……………⑦	136	△20	△156
うち不良債権処理額	△158	153	311
うち株式関係損益	2	0	△2
経常利益……………⑥	1,100	999	△101
特別損益	1	56	55
税引前当期純利益……………⑨	1,102	1,055	△46
当期純利益……………⑧	871	792	△78

### ■主な項目の計算方法

- ①業務純益 = ②業務粗利益 - ③一般貸倒引当金繰入額 - ④経費  
 ⑤実質業務純益 = ①業務純益 + ③一般貸倒引当金繰入額  
 ⑥経常利益 = ①業務純益 + ⑦臨時損益  
 ⑧当期純利益 = ⑨税引前当期純利益 - 法人税等合計

## 3. 業種別貸出金の状況

(単位:百万円、%)

内訳	平成25年9月末		平成26年9月末		残高増減
	残高	構成比	残高	構成比	
製造業	41,844	14.0%	39,793	13.6%	△2,051
農業・林業	75	0.0%	63	0.0%	△12
漁業	270	0.1%	249	0.1%	△21
鉱業・採石業・砂利採取業	23	0.0%	20	0.0%	△3
建設業	26,153	8.7%	24,138	8.2%	△2,015
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	1,056	0.3%	947	0.3%	△109
運輸業・郵便業	12,580	4.2%	11,784	4.0%	△796
卸売業・小売業	37,554	12.6%	37,320	12.8%	△234
金融業・保険業	3,316	1.1%	5,263	1.8%	1,947
不動産業	65,981	22.1%	65,593	22.4%	△388
物品賃貸業	1,355	0.5%	1,261	0.4%	△94
学術研究・専門・技術サービス業	1,097	0.4%	1,299	0.4%	202
宿泊業	911	0.3%	1,729	0.6%	818
飲食業	5,578	1.9%	5,310	1.8%	△268
生活関連サービス業・娯楽業	6,403	2.1%	4,916	1.7%	△1,487
教育・学習支援業	1,615	0.5%	1,609	0.6%	△6
医療・福祉	27,866	9.3%	27,314	9.3%	△552
その他のサービス	12,647	4.2%	12,268	4.2%	△379
小計	246,327	82.3%	240,881	82.2%	△5,446
地方公共団体	10,340	3.5%	10,283	3.5%	△57
個人(住宅・消費・納税資金等)	42,391	14.2%	41,758	14.3%	△633
合計	299,058	100.0%	292,922	100.0%	△6,136

#### 4. 有価証券の状況

有価証券の時価情報

(単位:百万円)

内 訳	平成25年9月末				平成26年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	175,528	3,704	3,928	224	171,732	5,484	5,500	15
国債	61,349	920	1,003	82	45,837	1,262	1,262	0
地方債	36,518	801	801	0	30,765	680	680	—
社債	68,952	1,404	1,455	51	81,413	2,146	2,158	11
うち 政府保証債	16,084	705	708	2	16,417	725	725	—
うち 公社公団債	3,154	26	30	4	3,503	52	57	5
うち 金融債	13,828	108	108	—	10,175	67	67	—
株式	2,081	457	463	6	3,125	768	770	2
その他	6,626	121	204	83	7,137	395	397	1
満期保有目的の債券	15,586	279	369	89	24,935	409	532	123
売買目的有価証券	—	—	—	—	—	—	—	—
うち子会社・関連会社株式	139	—	—	—	139	—	—	—

※ 評価差額は、9月末の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価の差額を計上しています。

※ 時価は9月末の市場価格等に基づいています。なお、子会社・関連会社株式、非上場株式、組合出資金については市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから当該帳簿価格を時価としております。

#### 5. 決算の状況

(単位:百万円)

項 目	平成25年9月末	平成26年9月末
業 務 純 益	964	1,019
経 常 利 益	1,100	999
コア業務純益	636	419
当 期 純 利 益	871	792

#### 6. 自己資本の状況

単体自己資本比率

(単位:百万円)

項 目	平成25年9月末	項 目	平成26年9月末
出資金	1,030	普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額 (A)	31,792
利益準備金	1,032	うち出資金及び資本剰余金の額	1,060
特別積立金	27,270	うち利益剰余金の額	30,732
次期繰越金	1,863	うち外部流出予定額(△)	—
その他有価証券の評価差損(△)	—	コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 (B)	1,563
基本的项目計……………(A)	31,196	うち一般貸倒引当金コア資本算入額	1,563
一般貸倒引当金	1,584	コア資本に係る基礎項目の額(A+B) … (C)	33,356
補完的项目不算入額(△)	—	コア資本に係る調整項目の額……………(D)	—
補完的项目計……………(B)	1,584	自己資本の額(C-D)……………(E)	33,356
控除項目計……………(C)	—	リスク・アセット等の額の合計額……………(F)	301,171
自己資本額(A)+(B)-(C) ……(D)	32,781	単体自己資本比率(E)/(F)	11.07%
リスク・アセット等計……………(E)	290,411		
単体自己資本比率(D)/(E)	11.28%		

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成25年9月においては旧告示に基づく開示、平成26年9月においては新告示に基づく開示を行っております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

■ 本誌では、単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとを加減算した場合、合計欄および増減欄の数値と一致しない場合があります。  
 ■ 本誌に掲載している数値については、会計監査人による監査を受けていません。

#### 7. 自己資本の構成(単体)

(単位:百万円)

項 目	平成26年3月末	経過措置による不算入額	平成26年9月末	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資または非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	31,104	—	31,792	—
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,056	—	1,060	—
うち、利益剰余金の額	30,089	—	30,732	—
うち、外部流出予定額	△ 41	—	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,517	—	1,563	—
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,517	—	1,563	—
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	32,622	—	33,356	—
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の合計額	—	81	—	86
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	—	81	—	86
前払年金費用の額	—	153	—	143
コア資本に係る基礎調整項目の額(ロ)	—	—	—	—
自己資本				
自己資本額(イ)-(ロ)=(ハ)	32,622	—	33,356	—
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	278,468	—	286,283	—
資産(オン・バランス)項目	277,797	—	285,522	—
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 7,045	△ 7,050	—	—
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)	81	86	—	—
うち、前払年金費用	153	143	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 7,280	△ 7,280	—	—
オフ・バランス取引等項目	636	715	—	—
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	34	46	—	—
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	14,887	14,887	—	—
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	293,356	301,171	—	—
自己資本比率(ハ)/(ニ)	11.12%	11.07%	—	—

● オペレーショナル・リスク「基礎的手法」の算出方法

粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15%  
 直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数 ± 8%

#### 8. 不良債権の状況

金融再生法開示債権残高

(単位:百万円)

区 分	平成25年3月末	平成26年3月末	平成26年9月末(A)	増 減
	債権額	債権額	債権額	増減
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	4,532	3,604	3,656	52
危 険 債 権	16,908	14,638	15,076	438
要 管 理 債 権	3,178	4,937	6,021	1,084
不 良 債 権 合 計	24,620	23,181	24,754	1,573
正 常 債 権	276,617	271,759	269,727	-2,032
合 計	301,237	294,940	294,481	-459
不 良 債 権 比 率	8.173%	7.860%	8.406%	0.547%

保全状況(平成26年9月末)

(単位:百万円)

区 分	担保・保証額 (B)	担保・保証のない部分 (C)=(A)-(B)	引当額 (D)	(C)に対する引当率 (D)/(C)	保全額 (E)=(B)+(D)	保全率 (E)/(A)
	破産更正債権及びこれらに準ずる債権	2,378	1,278	1,278	100.00%	3,656
危 険 債 権	10,485	4,591	2,295	50.00%	12,780	84.77%
要 管 理 債 権	2,609	3,412	299	8.76%	2,908	48.30%
不 良 債 権 合 計	15,473	9,281	3,872	41.73%	19,345	78.15%



# 店舗一覽

## 明石市中央部

本店営業部	明石市本町2-3-20	078(912)4567
明石駅前支店	明石市桜町11-14	078(911)8181
人丸支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337
林崎支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431

## 明石市西部

西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
江井ヶ島支店	明石市大久保町江井島739-3	078(946)0623
魚住支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799
二見支店	明石市二見町東二見887-1	078(942)1221

## 加古川市・高砂市・播磨町

加古川支店	加古川市加古川町寺家町311-3	079(422)6066
宝殿支店	高砂市神爪1-10-2	079(432)8711
本荘支店	加古郡播磨町南野添1-2-1	079(435)3270

## 三木市・小野市・加東市

三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211
緑が丘支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231
小野支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135
天神支店	加東市天神492	0795(47)1011
滝野支店	加東市上滝野2413	0795(48)2010

## 神戸市東部

本山支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061
魚崎支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-6	078(411)3281
六甲支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141
西灘支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431

## 神戸市中央部

神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731
神栄支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222
宇治川支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502
兵庫支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443
平野支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411
板宿支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001

## 神戸市北部

鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-20	078(591)1221
ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621
藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489

## 神戸市西部

垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222
舞子支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171
伊川谷支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571
玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110

## 西宮市

西宮今津支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489
--------	--------------	--------------